

平成 30 年度 事業推進の重点

舞鶴バレーボール協会

I. 事業推進の基本方針

生涯スポーツ時代にふさわしく、競技力の向上に努めるとともにレクリエーションスポーツの両面を備えた専門団体としての認識にたち、下記事項を重点目標として互いに協力、バレーボールの発展と愛好者人口の増大に努める。

また、バレーボールを通じて舞鶴市が掲げる「まいスポーツ推進プラン」の推進をはじめ、京都府バレーボール協会の「運営基本方針」実現のため積極的に協力する。

II. 運営の基本方針

スポーツサービス団体としての基本にたち、前文の基本方針実現に向け、互いに意識を高めて積極的協力体制のもと、下記業務を分担して事業を推進、振興することを運営の基本とする。

III. 本年度の重点取り組み

ソフトバレーボールを始め、各種大会への参加チーム数が年々減少する中、競技人口の増加、底辺の拡大を目指し、市内外を問わず大会参加を促進する。

1. 総 務 部

理事長と協力して各種事業の推進に努めるとともに、下記各部間の緊密化と連絡・調整を図り、機能性を高めるとともに、事業処理の適正化に努め、市民や競技者が満足できる円滑な事業の運営と調整に努力する。

また、会計担当者と協力して財政の健全且つ有効運用に努めるとともに、下記各部に属さない事項に関しても総合的立場からその推進に努める。

2. 指導普及部

強化部と協力し、文部科学省及び（公財）日本スポーツ協会が掲げる地域スポーツクラブの育成に努めるとともに、将来的展望のもとバレーボール界を担うジュニア層の育成に努力し、バレーボール人口の増大に努める。

また、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の育成を推進し、指導者派遣をはじめ指導者講習会を通じて学校及び地域スポーツの充実・振興に努める。

3. 強 化 部

チャンピオンシップスポーツとしての立場を認識するとともに、その自覚を高め、常に勝利を追求、諸技術の研究を深め、全市の常置クラブの設立を進め、京都府民総合体育大会及び四都市体育大会をはじめ、各種競技会における優勝を目指した計画的・継続的な選手の強化と競技力の向上に努める。

また、「中高校生対象バレーボール塾（教室）」を実施し、中学から高校へとバレーボールに常に携わることができる、より良い環境づくりに努める。

4. 競 技 部

審判部と協力し、運営の要として、市民サービスを基本とした主催競技会の活性化と運営の機能化に努めるとともに、楽しさや豊かさが実感できる競技会のあり方を研究、満足度の高い競技会の開催と運営に努める。

また、競技会の主管及び協力に対しても、専門的知識と実践を通して常に主催団体に協力、その成功に向け積極的支援に努める。

5. 審 判 部

競技部と協力し、競技会運営の柱として、審判員の養成及び審判技術の向上を図り、その適正を期すための講習会及び研修会を開催、ルールの研究・研鑽をはじめ審判員にふさわしい円満な人格の形成に努める。

6. ソフトバレーボール部

（公財）日本バレーボール協会の発案・普及の主旨にもとづき、生涯スポーツ社会構築上不可欠の、いつまでも気軽に、自己の体力や能力に応じ、年間を通じて豊かなスポーツ体験として楽しむことができる機会を提供、スポーツ活動生涯化の一助とする。